

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年8月16日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年8月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【一時保管エリアW1に保管しているノッチタンク天板の穴の確認について】 一時保管エリアのコンテナおよびノッチタンクの上部の状態を確認することを目的に、設備主管箇所にてドローンによる確認の結果、一時保管エリアW1に保管しているノッチタンク2基の天板に穴(最大約20cm×40cm、計4箇所)があることを確認。 現場での目視確認の結果、穴から内部を確認できる範囲においては、金属物が見えるものの水面は確認されず、水の溢れや内容物の飛散の形跡がないことを確認。 当該ノッチタンク上部およびタンク周辺の空間線量当量率の測定においても、有意に高い箇所がないことを確認。 また、一時保管エリアW1内に降った雨水は、東側法面または南側汐見坂を經由して物揚場排水路に入るが、物揚場排水路の簡易放射線検知器の値においても、有意な上昇がないことを確認。 今後、一時保管エリア内にある他のノッチタンクについて、今月中を目途に順次シート養生を実施予定。</p>	GⅢ	8月10日